

# 防災スペシャリスト養成 地域研修

1. 地域研修及び地域検討会の実施
2. 開催地域の決定状況について
3. 研修企画・運営に関する支援方策について

# 1. 地域研修及び地域検討会の実施

## ● 地域研修及び地域検討会の実施方針

- 応募地域の研修ニーズや実施体制に応じた研修カリキュラムの提案を実施する
  - 有明の丘研修のカリキュラム（リニューアルした防災基礎コースの単元を含む）、過去の開催事例等を提供
- 早い時期から地域検討会を開き、研修設計の初期段階から協議する
  - 早期に地域からのニーズや要望を確認しながら協議を進める

## ● 情報提供する過去の開催事例

### ① 基本カリキュラムでの実施事例

基本カリキュラムの演習の講評を研修コーディネーターが担当した事例（三重、埼玉、高知等）

単元	時間	備考
9:15 開会	10分	
9:25 受講者 自己紹介	15分	
9:40 演習：災害対応過程と態度を学ぶ	120分	講評：研コ
11:50 昼休憩	60分	
12:50 演習：災害対策本部における対応	160分	講評：研コ
15:50 演習：全体討論（ふりかえり）	60分	講評：研コ
16:50 閉講	10分	

※研コは研修コーディネーターの略

### ② 独自カリキュラムを反映した実施事例

地域ニーズ（厳冬期の災害対応および地区防災計画等）を踏まえてリアルタイム研修を実施した事例（R4年度 北海道）

 ：独自カリキュラム反映箇所

単元	時間	備考
9:15 開会	10分	
9:25 受講者 自己紹介	15分	
9:40 座学：平成30年北海道胆振東部地震における被災者対応	30分	厚真町職員
10:10 動画：DoBowSai～真冬の夜、そのとき避難所は	15分	北海道製作
10:25 演習：地区防災計画と個別避難計画演習	95分	講師：研コ
12:00 昼休憩	60分	
18:00 演習：災害対策本部における対応	155分	講評：研コ
15:55 演習：全体討論（ふりかえり）	55分	講評：研コ
16:50 閉講	10分	

# 【参考】令和4年度 基本カリキュラム

□ : 基本単元(受講必須)

■ : 追加単元(受講任意)

■ : 調整単元(受講必須)

区分	単元	時間 (目安)	単元の概要	講師	学習目標	
オンデマンド講義 (約1ヶ月間実施)	1	防災行政概要	35分	防災活動全体の流れと個々の活動の基礎的な知識を学ぶ。	内閣府	・防災活動の全体像と考え方、段階ごとの活動の概要を説明できる。
	2	災害法体系	40分	防災活動の前提となる法律を学ぶ。	内閣府	・防災活動に関連する法令の概要を説明できる。
	3	防災計画	25分	防災計画の基本的な知識を学ぶ。	内閣府	・防災計画(BCPと受援体制を含む)の概要を説明できる。
	4	地域の災害特性	60分	地域の災害特性(地域の脆弱性含む)、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ。	地方 気象台等	・地域の災害特性と想定される被害の概要を説明できる。
	5	警報避難の枠組み	40分	避難情報判断、住民伝達、避難行動などについて、「避難情報に関するガイドライン」を中心に学ぶ。	内閣府	・警報等の伝達及び避難情報の判断・伝達の流れを説明できる。
	6	被災者支援の枠組み(A) (災害救助法と仮設住宅)	50分	災害救助法の概要や応急仮設住宅(建設型、賃貸型等)の提供業務の仕組みと概要について学ぶ。	内閣府	・災害救助法の概要を説明できる。 ・応急仮設住宅(建設型、賃貸型等)の仕組みと業務の概要を説明できる。
	7	被災者支援の枠組み(B) (避難生活支援)	45分	災害救助法に基づく避難所の開設・運営業務及び多様な被災者への対応について、ガイドラインや事例を交えて学ぶ。	内閣府	・避難所の開設・運営と多様な被災者への対応を説明できる。 ・感染症対策に留意した避難所運営を担うことができる。
	8	被災者支援の枠組み(C) (生活再建支援①)	50分	住家の被害認定調査や罹災証明書交付業務の概要について学ぶ。	内閣府	・住家被害の調査や罹災証明書の交付業務の仕組みと業務の概要を説明できる。
	9	被災者支援の枠組み(D) (生活再建支援②)	10分	被災者生活再建支援法の概要について学ぶ。	内閣府	・被災者生活再建支援法の概要を説明できる。
	-	追加単元 (地区防災計画、災害応急対策、物資調達等、地域の希望により追加)				
リアルタイム研修 (対面/オンライン) (1日程度実施)	1	災害対応過程と態度を学ぶ	120分 +10分 休憩	実際の災害発生時の地方公共団体の対応事例を題材に、事前対策や災害対応に対する心構えを学ぶ。	事務局	・災害発生前後に必要な行政の対応の流れを具体的に説明できる。
	2	災害対策本部における対応	160分 +20分 休憩	特定状況や課題に対する災害対策本部としての対応目標の設定及び対策立案を中心とする災害対応上のポイントを学ぶ。	事務局	・災害対策本部の運営における目標管理と情報共有の重要性及び対策立案の方法について説明できる。
	3	全体討論 (ふりかえり)	60分	研修全体を通じて学んだことから、地域の防災力向上や備えに反映させるべきことを受講者間で考える。	事務局	・研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・日頃からの「備え」につなげることを認識する。

## 2. 開催地域の決定状況について

本年度実施を予定する開催地域は下記のとおり。

応募団体	岡山県	青森県	奈良県	鳥取県	徳島県
過去実施	R3/R4年度 実施	R3年度 実施	R1/R3/R4年度 実施	R3年度 実施	なし
研修実施 希望時期	11月下旬 ～12月	10月～11月頃	6～7月頃 ⇒調整中	8月～9月	8月中旬 ～9月中旬 (オンライン) 10月 (対面演習)
演習実施 方法	集合	集合	オンライン	集合	集合
対象者	岡山県職員・県内市 町村職員・中国地方 4 県職員	青森県及び県内市町 村職員並びに周辺道 県担当職員	県の防災関係職員	県内市町村（枠が余 る場合中国各県及び 隣接の兵庫県にも案 内)	県及び市町村職員
受講者数 (見込)	30～40人	50人	20人 ⇒調整中	50人	50人
自主企画	-	-	-	-	有
地域講師	-	-	-	-	有
提案内容	-	-	-	-	有

# 3. 研修企画・運営に関する支援方策

## ● 地域研修及び地域検討会の進め方

	目的	参加者	検討事項	準備資料
~ 3 ヶ月前 事前説明	地域研修・地域検討会の趣旨説明、今後の検討準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催自治体等</li> <li>・内閣府</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域研修の考え方について</li> <li>● 地域検討会を通じた研修プログラムの検討について</li> <li>● 地域検討会開催に向けた調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域研修の考え方</li> <li>・地域検討会の考え方</li> <li>・開催自治体等の今後の検討事項</li> <li>・基本スケジュール</li> <li>・研修ニーズ確認シート</li> <li>・参考：研修コーディネーター候補</li> <li>・参考：有明の丘研修座学か如が</li> <li>・参考：地域研修の開催事例</li> </ul>
~ 2 ヶ月前 第1回 地域検討会	研修カリキュラム全体と座学単元の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催自治体等</li> <li>・研修コーディネーター</li> <li>・内閣府</li> <li>・関係機関等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の研修ニーズを踏まえた研修カリキュラムの検討</li> <li>● 座学単元の検討（内容・講師）</li> <li>● リアルタイム研修実施方針の検討</li> <li>● 目指すべき人材像の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の研修ニーズ</li> <li>・研修までのスケジュール</li> <li>・研修カリキュラム（素案）</li> <li>・座学講義資料（有明の丘研修）</li> <li>・新規座学単元内容・講師（案）</li> <li>・リアルタイム研修実施方針（案）</li> <li>・対応力（人）を高める仕組み（山の絵）、災害対応のサイクル</li> </ul>
~ 1 ヶ月前 第2回 地域検討会	研修カリキュラム全体とリアルタイム研修の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催自治体等</li> <li>・研修コーディネーター</li> <li>・内閣府</li> <li>・関係機関等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リアルタイム研修の検討</li> <li>● 前日・当日の流れと役割確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修カリキュラム（案）</li> <li>・リアルタイム研修企画書（講師、講義・演習内容、時間詳細）</li> <li>・前日・当日の流れ・役割分担</li> <li>・参考：地域の研修ニーズ</li> <li>・参考：研修までのスケジュール</li> </ul>
地域研修				
~ 1 週間後 第3回 地域検討会	研修ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催自治体等</li> <li>・研修コーディネーター</li> <li>・内閣府</li> <li>・関係機関等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研修の課題と改善点について</li> <li>● 地域検討会の課題と改善点について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえり事項</li> <li>・参考：研修カリキュラム</li> </ul>

← 研修コーディネーターへの呼びかけ

# ● 地域研修及び地域検討会の支援方策

## 内閣府が提供する主な支援

### 研修カリキュラム企画等の支援

- 地域の研修ニーズを明確にし、研修カリキュラムに反映できるよう企画段階からの支援、有明の丘研修座学単元の提供、新規座学単元の作成、リアルタイム研修企画の支援
- 参画いただく研修コーディネーターの紹介、参加調整

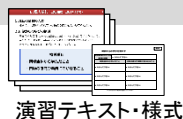
### オンデマンド講義用動画教材、受講環境(LMS)等の提供

- 研修カリキュラムを構成する座学単元分のオンデマンド用の講義動画及びテキスト、学習管理システム(LMS)の提供



### 演習教材の開発・提供

- 研修カリキュラムを構成する演習の企画、教材の開発、演習テキスト・様式の提供



### リアルタイム研修当日の運営支援及び講師派遣

- 地域研修プログラムに基づき、当日研修を実施するための司会者、記録者など研修運営をサポートするスタッフを派遣
- (対面形式の場合)会場設営、講義や演習等を担う講師の派遣、配布資料の印刷
- (オンライン形式の場合)受講環境(Zoom)の提供
- 講師への謝金・交通費の支払い



### 研修後の対応、受講証明書の発行

- 研修後アンケート・テストの実施
- 受講証明書の発行、受講者へのメール送付



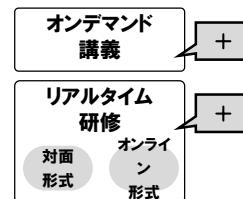
## 地域側主催者が検討・準備する事項

### 地域検討会の主体的な実施

- 地域検討会の開催のための参加者・日程の調整

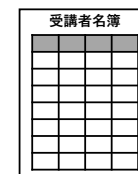
### 「地域研修」の企画及び研修プログラムの検討・決定

- 地域検討会を通じて、研修カリキュラムの検討、座学・演習単元の検討・選定、独自提案単元の内容調整・決定、開催日程およびリアルタイム研修の開催形式の決定
- 独自提案の単元の講師調整(内閣府協力可)、教材等の開発



### 受講者の募集事務

- 地域研修の受講者募集に係る広報、防災関係機関への参加の呼びかけ(内閣府協力可)、募集案内の送付、応募者の受付事務、定員に満たない場合の受講者確保の対応。
- (募集締め切り後)受講者名簿の作成、内閣府等への提供



受講者名簿

### 会場及び運営資機材の確保と準備

- (対面形式の場合)会場の確保、必要資機材の確保、会場設営、名札・配席図の準備、研修当日の受講者受付・対応
- 地域独自の単元の講師接遇および講義・演習等の実施



### リアルタイム研修の運営要領の確認

- 内閣府が提供する地域研修プログラムに基づいたリアルタイム研修の運営要領の確認